

第2回委員意見を踏まえた検討結果

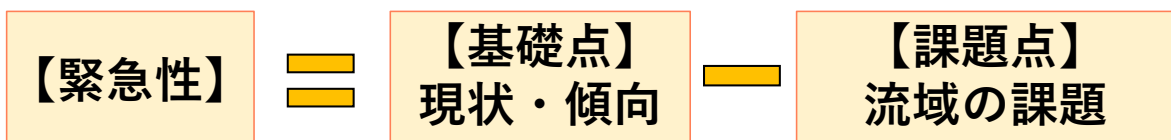
計算方法に関する意見	対応
案1をベースとし指標については案2のようにもっと増やす方向で検討	委員意見に基づく計算方法の見直し
水質、水量、治水、自然環境、暮らしの5分野について同等の重みづけをして評価し点数化	
傾向も基礎点に入れた方がよい	
評価指標に関する意見	対応
雨水利用の指標がない	指標の追加
代表的な湧水地点数は、ただ単に地点数ではなく減少した数というのであれば意味がある	傾向が分かる指標に変更
常緑針葉樹林を最高評価の5としていることが気になる	評価基準の見直し
富士川圏域の地下水利用量と涵養量は同じくらいであり、12倍もあるとは思えない	指標値の算出方法の見直し
水質はBOD、CODのみならず窒素、リンについても評価すべき	観測地点数が極端に少ないため断念

計画の策定順

評価方法

【基礎点】	<ul style="list-style-type: none"> <li>「水質、水量、災害・治水、自然環境、暮らし」の5分野において、<b>圏域の現状及び傾向を評価する指標</b>を選定</li> <li>指標を数値化し、5段階（20点～100点）に分けて<b>点数化</b></li> <li><b>5分野については、同等の重みづけ</b>をして評価</li> </ul>
【課題点】	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>流域の課題</b>を1課題当たり10点として点数化 ※流域課題・施策整理表の課題を対象（全圏域共通の課題及び基礎点で評価した課題は対象外）</li> </ul>
【緊急性】	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎点から課題点を減点し、<b>総合点が低い圏域を緊急性が高い圏域</b>と評価</li> </ul>

評価方法のイメージ

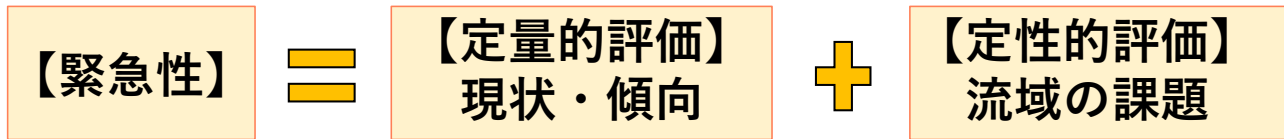


## 課題評価見直し案

### 評価方法

【定量的評価】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「<b>水質、水量、災害・治水、自然環境、暮らし</b>」の5分野において、<b>圏域の現状及び傾向を評価する指標</b>を選定</li> <li>・指標を数値化し、5段階（20点～100点）に分けて<b>点数化</b></li> <li>・<b>5分野については、同等の重みづけ</b>をして評価</li> <li>・<b>合計点が低い圏域から緊急性が高い圏域</b>と評価</li> </ul>
【定性的評価】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて<b>流域の課題</b>を考慮して評価を補正  <small>※流域課題・施策整理表の課題を対象（全圏域共通の課題及び基礎点で評価した課題は対象外）</small></li> </ul>

### 評価方法のイメージ



# 計画の策定順

分類	項目	緊急性を評価する指標（案）
水質	表流水	公共用水域におけるBOD等環境基準の達成地点の割合、公共用水域における水質悪化地点数
	地下水	塩水化していない観測井の割合
水量	湧水	取水制限日数
	地下水	利用量に対する涵養量が少ない地域の面積、届出揚水設備数
災害・治水	災害	土砂災害発生件数、被災家屋棟数
	整備	土砂災害危険箇所整備率、県管理河川整備率
自然環境	植物	植生が残っている地目等の評価
	生物	レッドデータブックに記載されている絶滅の恐れがある種数
	湧水	湧水把握地点数の変化
	開発	地域森林計画対象森林面積の変化
暮らし	下水道	汚水処理人口普及率
	流域の活動	リバーフレンドシップの協定締結数、多面的機能支払交付金活動面積
	水循環	雨水・再生水利用施設数

【基礎点】指標の整理①

分類	評価項目	指標	現状/傾向	評価値の単位	伊豆海岸	狩野川	富士川	安倍川	大井川・菊川	太田川	天竜川	浜名湖	
水質	表流水水質	公共用水域におけるBOD、COD環境基準の達成地点の割合	現状	割合	100.0%	100.0%	95.7%	96.7%	93.1%	100.0%	100.0%	87.5%	
			傾向	増減率	5.0%	0.0%	-2.2%	-3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%
		公共用水域における水質悪化(類型Cの基準値以下)地点数の割合	現状	割合	0.0%	0.0%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%
			傾向	増減率	0.0%	0.0%	4.3%	0.0%	-1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	-2.5%
	地下水水質	塩水化していない観測井の割合	現状	割合	-	100.0%	93.5%	94.9%	100.0%	82.8%	86.2%	87.5%	
			傾向	増減率	-	0.0%	1.3%	1.0%	2.3%	3.5%	7.6%	0.8%	
水量	渇水	取水制限日数	現状	日数	-	-	-	-	406	548	511	588	
			傾向	倍率	-	-	-	-	4.32	1.99	1.86	1.76	
	地下水水量	地下水利用量に対する地下水涵養量が少ない地域の面積	現状	比率	-	33.49	261.71	84.72	85.11	60.12	216.29	85.23	
			傾向	増減率	-	-	-4.84%	-10.34%	-18.12%	-13.68%	-9.31%	-7.20%	
	地下水利用	届出揚水設備数	現状	総数	-	-	1,023	772	881	328	419	232	
			傾向	増減率	-	-	-4.84%	-10.34%	-18.12%	-13.68%	-9.31%	-7.20%	

注) 表中の各圏域の数値は、公表データ又は庁内各課からの提供データに基づき、事務局が算出したものである。

【基礎点】指標の整理②

分類	評価項目	指標	現状/傾向	評価値の単位	伊豆海岸	狩野川	富士川	安倍川	大井川・菊川	太田川	天竜川	浜名湖
災害・治水	土砂災害	土砂災害発件数	現状	総数	109.0	65.0	20.0	121.0	158.0	78.0	56.0	69.0
			傾向	比率	0.96	1.41	0.77	1.16	2.47	4.11	1.75	2.56
	浸水被害	被災家屋棟数	現状	総数	714.0	1,279.0	467.0	1,920.0	962.0	233.0	346.0	93.0
			傾向	比率	1.05	0.36	0.25	0.62	1.02	0.37	0.44	0.18
	土砂災害対策	土砂災害危険箇所整備率	現状	割合	25.88%	26.44%	38.49%	37.34%	46.34%	23.99%	33.60%	24.28%
河川整備	県管理河川整備率	現状	割合	34.8%	85.9%	12.9%	19.4%	30.3%	39.0%	14.7%	21.0%	
自然環境	植物環境	植生が残っている地目の評価	現状	面積(加重)	80.52	69.09	65.23	70.34	72.65	57.77	71.83	55.28
			傾向	面積差(加重)	-2.11	-1.92	-2.26	-2.78	-2.78	-6.01	-1.07	-5.46
	生物生息環境	レッドデータブックに記載されている絶滅の恐れがある種数	現状	種数(平均)	非公表値							
	湧水	湧水把握地点数	傾向	増減率	-26.0%	-25.6%	0.0%	-	-6.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	開発	地域森林計画対象森林面積の変化	傾向	割合	-0.24%	-0.51%	-0.29%	-0.14%	-0.22%	-0.72%	-0.09%	-2.13%
暮らし	下水道等	污水处理人口普及率	現状	増減率	60.6%	84.6%	85.3%	93.8%	74.4%	84.2%	90.9%	87.4%
	流域の活動	リバーフレンドシップの協定締結数	現状	締結数	40	35	34	39	284	157	50	12
		多面的機能支払交付金活動面積	現状	面積(ha)	128.4	620.3	907.0	877.1	3251.0	4265.3	495.9	3820.6
	水循環	雨水・再生水利用施設数	現状	箇所数	4	9	3	12	12	4	3	4

注) 表中の各圏域の数値は、公表データ又は庁内各課からの提供データに基づき、事務局が算出したものである。

## 【基礎点】指標の点数化①

分類	評価項目	指標	現状/傾向	評価値の単位	伊豆海岸	狩野川	富士川	安倍川	大井川・菊川	太田川	天竜川	浜名湖	
水質	表流水水質	公共用水域におけるBOD、COD環境基準の達成地点の割合	現状	割合	100点	100点	60点	60点	40点	100点	100点	20点	
			傾向	増減率	100点	100点 <sup>※1</sup>	20点	20点	60点	100点 <sup>※1</sup>	100点 <sup>※1</sup>	80点	
		公共用水域における水質悪化(類型Cの基準値以下)地点数の割合	現状	割合	100点	100点	20点	100点	100点	100点	100点	100点	20点
			傾向	増減率	100点 <sup>※1</sup>	100点 <sup>※1</sup>	20点	100点 <sup>※1</sup>	100点	100点 <sup>※1</sup>	100点 <sup>※1</sup>	100点 <sup>※1</sup>	100点
	地下水水質	塩水化していない観測井の割合	現状	割合	100点 <sup>※2</sup>	100点	60点	80点	100点	20点	20点	40点	
			傾向	増減率	100点 <sup>※2</sup>	100点 <sup>※1</sup>	40点	20点	100点 <sup>※1</sup>	60点	100点	20点	
水量	渇水	取水制限日数	現状	日数	60点 <sup>※3</sup>	60点 <sup>※3</sup>	60点 <sup>※3</sup>	60点 <sup>※3</sup>	40点	20点	20点	20点	
			傾向	倍率	60点 <sup>※3</sup>	60点 <sup>※3</sup>	60点 <sup>※3</sup>	60点 <sup>※3</sup>	20点	60点	60点	60点	
	地下水水量	地下水利用量に対する地下水涵養量が少ない地域の面積	現状	比率	100点 <sup>※2</sup>	100点	20点	80点	80点	100点	20点	80点	
			傾向	増減率	100点 <sup>※2</sup>	100点 <sup>※2</sup>	20点	60点	100点	80点	60点	20点	
	地下水利用	届出揚水設備数	現状	総数	100点 <sup>※2</sup>	100点 <sup>※2</sup>	20点	20点	20点	80点	60点	80点	
			傾向	増減率	100点 <sup>※2</sup>	100点 <sup>※2</sup>	20点	60点	100点	80点	60点	20点	

※1 H24年度時点において全地点で基準を満足しており、R3年度まで維持されているため、100点を配点した。  
 ※2 調査結果等がなく指標値が存在しないが、指標項目に関して問題が生じていない地域であるため、100点を配点した。  
 ※3 調査結果等がないため指標値を用いた評価ができず、かつ評価項目に関する問題の有無が不明であるため、中間点である60点を配点した。

## 【基礎点】指標の点数化②

分類	評価項目	指標	現状/傾向	評価値の単位	伊豆海岸	狩野川	富士川	安倍川	大井川・菊川	太田川	天竜川	浜名湖
災害・治水	土砂災害	土砂災害発件数	現状	総数	40点	80点	100点	40点	20点	60点	80点	60点
			傾向	比率	100点	80点	100点	100点	40点	20点	60点	40点
	浸水被害	被災家屋棟数	現状	総数	60点	40点	80点	20点	60点	100点	100点	100点
			傾向	比率	20点	80点	100点	60点	20点	80点	80点	100点
	土砂災害対策	土砂災害危険箇所整備率	現状	割合	20点	20点	80点	80点	100点	20点	60点	20点
河川整備	県管理河川整備率	現状	割合	60点	100点	20点	20点	60点	60点	20点	20点	
自然環境	植物環境	植生が残っている地目の評価	現状	面積(加重)	100点	60点	60点	60点	80点	20点	80点	20点
			傾向	面積差(加重)	80点	100点	80点	60点	60点	20点	100点	20点
	生物生息環境	レッドデータブックに記載されている絶滅の恐れがある種数	現状	種数(平均)	100点	80点	40点	100点	100点	40点	80点	20点
	湧水	湧水把握地点数	傾向	減少率	20点	20点	100点	100点 <sup>※2</sup>	60点	100点	100点	100点
	開発	地域森林計画対象森林面積の変化	傾向	割合	100点	60点	100点	100点	100点	60点	100点	20点
暮らし	下水道等	污水处理人口普及率	現状	増減率	20点	60点	60点	100点	40点	60点	100点	80点
	流域の活動	リバーフレンドシップの協定締結数	現状	締結数	100点	100点	100点	100点	20点	40点	80点	100点
		多面的機能支払交付金活動面積	現状	面積(ha)	100点	100点	100点	100点	20点	20点	100点	20点
	水循環	雨水・再生水利用施設数	現状	箇所数	20点	80点	20点	100点	100点	20点	20点	20点

※2 調査結果等がなく指標値が存在しないが、指標項目に関して問題が生じていない地域であるため、100点を配点した。

【基礎点】指標の点数化③

分類	伊海 豆岸	狩野川	富士川	安倍川	大井川 大菊川	太田川	天竜川	浜名湖
水質	100	100	37	63	83	80	87	47
水量	84	84	36	56	52	68	44	52
災害・治水	50	67	80	53	50	57	67	57
自然環境	80	64	76	84	80	48	92	36
暮らし	60	85	70	100	45	35	75	55
計	374	400	299	357	310	288	364	246

【満点：各分野100点×5分野＝500点】

【課題点】流域の課題等の整理

分類	流域の課題等	伊海 豆岸	狩野川	富士川	安倍川	大井川 大菊川	太田川	天竜川	浜名湖
水質	河川やダムの上汚りによる水産資源等への影響			○		○	○	○	
水量	気候変動等による河川の渇水・瀬切れの増加やそれに伴う水利調整			●	●	○	○	○	○
災害・治水	気候変動に伴う水害の激甚化	○	○	○	○	○	○	○	○
自然環境	森林の荒廃による水源涵養機能の低下及び荒廃森林の再生	○	○	○	○	○	○	○	○
	河川から排出された流草木による漁業被害及び魚道の改修	○	○	○	○	○	○	○	○
	名勝・史跡・天然記念物等の保全(柿田川・富士山・白糸ノ滝・南アルプス・浜名湖)		●	●		●			●
暮らし	森林の大切さや森づくりに対する県民理解の促進	○	○	○	○	○	○	○	○
	リニア中央新幹線建設に伴う水資源への影響					●	●		
	湖沼における水産資源減少に伴う漁業経営への影響								●
【課題点】			10	20	10	20	10		20

【●⇒対象 (1課題当たり10点)】

【○⇒対象外 (全圏域共通の課題及び基礎点で評価した課題)】

## 【緊急性】評価結果（【基礎点】－【課題点】）

区分	伊海 豆岸	狩野川	富士川	安倍川	大井川 菊川	太田川	天竜川	浜名湖
【基礎点】 現状・傾向	374	400	299	357	310	288	364	246
【課題点】 流域の課題等	0	10	20	10	20	10	0	20
【緊急性】	374	390	279	347	290	278	364	226
策定順	7	8	3	5	4	2	6	1

【緊急性】 = 【基礎点】 - 【課題点】

※点数が低い ⇒ 緊急性が高い